

薬には病気を治したり、症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。

薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や薬剤師に相談してください。

ナゾネックス点鼻液 50 μ g56 噴霧用、ナゾネックス点鼻液 50 μ g112 噴霧用

一般名： モメタゾンフラン カルボン酸エステル水和物 (Mometasone Furoate Hydrate)	販売名	ナゾネックス点鼻液 50 μ g56 噴霧用	ナゾネックス点鼻液 50 μ g112 噴霧用
	形状（製剤写真等）		

1. どんな薬

- この薬は、アレルギー症状や炎症をしずめる働きがあり、アレルギー性鼻炎（くしゃみ、鼻水、鼻づまり、鼻内のかゆみなど）に用いられます。

2. この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ⊗ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や薬剤師に相談してください。
 - 抗菌剤が効かない感染症、全身性の真菌症の人
 - 過去にナゾネックスに含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や薬剤師に相談してください。
 - ・結核性疾患、感染症、眼の単純ヘルペス、反復性鼻出血（鼻血を繰り返す）の人
 - ・鼻腔内に化膿（膿がたまり、痛みやはれを伴う）、潰瘍、外傷がある人。鼻の手術を受けた人。
 - ・ステロイド剤の全身投与から局所投与に切り替えた人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- 他の医療機関にかかる場合や、薬局などで他の薬を買う場合は、必ずこの薬を使用していることを医師や薬剤師に伝えてください。

3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような症状があらわれることがあります。これらの症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用など
鼻水が出る、鼻がつまる、鼻血、鼻のはれ、口やのどに白いブツブツができる、のどの痛み、のどのはれ、食べ物やつばが飲み込みにくい、のどがつまる、のどがかわく	鼻・咽喉頭真菌症
顔が丸くなる、体重がふえる、血圧が上がる、体が重くて動きたくない感じがする、食欲がない、疲れやすい、力が入らない、体重が減る、吐き気、吐く、お腹が痛い、下痢、ぼんやりしてまわりのことがよく分からなくなる、性的な気持ちや興味がなくなる、皮ふの色が黒くなる、成長が遅れる、背がのびにく	全身性の作用（クッシング症候群、クッシング様症状、副腎皮質機能抑制、小児の成長遅延、骨密度の低下、白内障、緑内障

くなる、骨が折れやすくなる、目が見えにくくなる、目がぼやけて見える、まぶしい、メガネをかけてもよく見えない、目で見える範囲の一部が見えなくな って狭くなる	を含む)
--	------

- 患者さんや保護者の方は、使用前に、この薬の使い方について十分に説明を受けてください。

4. ほかに知られている副作用

「3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載されている副作用のほか、比較的よくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
鼻がピリピリ、ヒリヒリ、チクチクする、鼻がかゆい、鼻がかわく、鼻が痛い、鼻が赤くなる、鼻が変な感じがする	鼻症状（刺激感、そう痒感、乾燥感、疼痛、発赤、不快感等）
口の奥やのどがピリピリ、ヒリヒリ、チクチクする、口の奥やのどの痛み、口の奥やのどが変な感じがする、のどがかわく	咽喉頭症状（刺激感、疼痛、不快感、乾燥等）
吐き気、吐く、疲れやすい、お腹が痛い、食欲がない、めまい	コルチゾール減少

5. 保管方法

直射日光と湿気をさけて室温（1～30℃）で保管してください。

6. 問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。

この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：オルガノン株式会社、電話：フリーダイヤル 0120-095-213、受付時間：9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）、URL <https://www.organon.com/japan/>

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>